

ワークシート 3

2 現代社会と人間としての在り方生き方

(2) 現代の民主政治と政治参加の意義

ア 基本的人権の保障

◆法について確認しよう◆

問 1 - 1 日本国憲法第19条には「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」とあるが、「誰」に対して「侵してはならない」のだろうか。

①誰に対して

②なぜ、①に対して「侵してはならない」のだろうか。

問 1 - 2 校則や法律は誰に対して定めたものだろうか。

①学校の校則

②民法（例えば、民法第731条には「男は、18歳に、女は、16歳にならなければ、婚姻をすることができない」とあることをヒントに考えよう）

③刑法（例えば、刑法第235条には「他人の財物を窃取した者は、窃盗の罪とし、10年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処する」とあることをヒントに考えよう）

①

②

③

◆個人と集団について考えよう◆

問 2 各人が自分の利益や価値観を主張しあい、譲歩や妥協もしなかったらどのような社会になるのだろうか。

作業 1 次の語句について調べよう。

政 治：

政治権力：

◆王制から市民の政治へどのように変化したのだろうか◆

作業 2 王権神授説とはどのような説か。調べてまとめよう。

作業 3 教科書の民主政治発達の歴史に関して、興味のある項目 1 つを選び、調べてみよう。

【項目】：

【調べたこと】：

ワークシート 3

作業4 ホッブズ、ロック、ルソーそれぞれの社会契約説で気付いたことを書いてみよう。

ホッブズ	ロック	ルソー
・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・

討論 作業4を参考に、ホッブズ、ロック、ルソーの社会契約説の違いについてグループで話し合い、小学生が理解できるような表現でまとめてみよう。

--

◆人権保障の源流と宣言・法規について調べよう◆

	私有財産の不可侵に関する宣言・法規	人身（身体）の自由に関する宣言・法規
マグナ・カルタ 【 】年		
権利請願 【 】年		
権利章典 【 】年		
フランス人権宣言 【 】年		

◆センター試験問題にチャレンジ!◆

出典：2003年「政治・経済」本試

- ジョン・ロックの自然権思想についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。
- ① 自然状態においては、各人の有する自然権は相互に衝突し、「万人の万人に対する闘争」が生じる。
 - ② 自然界において、強者が弱者を支配することが神の摂理にかなうように、君主は臣民を絶対的に支配する自然権を有する。
 - ③ 人間はその本性からして、孤立して生きることができないため、政治的共同体に所属し、政治に参加する権利を持つ。
 - ④ 自然状態において、各人は自らの生命・自由・財産に対して自然権を有しており、この権利を保全するために政府が設立される。